

ありたい姿

14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われています

政策 34

脱炭素社会の実現と自然環境の保全・共生

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 地球温暖化に伴う気候変動により、温室効果ガスの削減に対する市民の意識や関心が高まっています。
- 太陽光発電による再生可能エネルギーの導入が増えています。
- 早崎海峡海域には、漁業者と共存した野生のイルカが生息しており、環境実態調査に取り組んでいます。
- 海、川、山などの豊かな自然に、多種多様な生物が生息・生育しています。
- 自然環境を守るため、市民等による環境保全活動が行われています。

課題

- 地球温暖化対策防止に向けた温室効果ガスの排出量を削減するための具体的な取り組みを行う必要があります。
- 太陽光発電設備のリサイクル方法等について確立する必要があります。
- 豊かな自然を地域の財産として後世に引き継いでいくため、環境保全活動に取り組む必要があります。

施策計画

1. 脱炭素社会の実現

- 再生可能エネルギーの導入促進を図るため、住宅用太陽光発電システムおよび蓄電システムの設置を推進します。
- 大規模太陽光、風力、水力、バイオマス等の発電システムについても、官民一体となって環境にやさしいまちづくりを進めます。
- 省エネルギーやエネルギーの地産地消を推進するとともに、森林・里地里山の保全再生に取り組み、温室効果ガスの排出量の削減を図ります。
- 行政が率先して、電気や水の節約、冷暖房のこまめな調節を推進します。

成果指標名	現状値	前期目標値
市全体の温室効果ガス排出量	361千t-CO ₂ (R元年度)	330千t-CO ₂ (R5年度)

2. 自然環境保全活動の推進

- 動植物、生態系、水資源などの自然環境の保全または創造に関する里地里山・里海づくり、環境実態調査等の各施策について、他の部門の政策、施策計画と連携を図りながら、総合的かつ計画的に実施します。
- 各種団体等と連携を図り、学びの場を広げるとともに、市民等が自主的に実施する環境美化活動を推進します。

成果指標名	現状値	前期目標値
環境保全活動を行っている市民の数	34,734人 (R3年度)	36,500人 (R7年度)

分野別計画

天草市環境基本計画、天草市一般廃棄物処理基本計画

この政策が関連する『ありたい姿』

- 8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられています
- 15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われています

ありたい姿

15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われています

政策 35

快適な生活環境の充実

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 工事等に伴う騒音・振動や、悪臭、空き地に繁茂した雑草に関する事など生活環境に影響を及ぼす相談が多数寄せられています。
- 野良猫、野犬等による生活環境被害の相談と併せて、ペット飼育者のマナーに関する事など、動物に関する苦情や相談が多岐にわたり寄せられています。
- 環境美化推進員による分別指導や環境学習の実施、各種メディアによる周知啓発により市民の環境に対する意識や関心は高まっていますが、ごみの不法投棄が後を絶ちません。
- 少子高齢化などの影響による人口減少が進む中、ごみの総排出量は減少していますが、1人1日当たりのごみ排出量および資源化率については横ばいで推移しています。
- 環境施設等の老朽化が進んでいることから、補修等を行い施設の長寿命化を図っています。

課題

- 騒音・振動・悪臭などの公害については、各法令に照らして対応し、また、住宅地等における雑草繁茂については、所有者に適正管理をお願いしていますが、市外在住者等については、対応が困難な場合もあります。
- ペット飼育者のマナー指導については強制力がないため、注意を促すことに留まっています。引き続き飼育者に対し意識啓発を行い、周囲に配慮する意識を高めていく必要があります。
- 自然景観および環境に悪影響を及ぼす不法投棄への防止対策や海洋ごみの発生抑制により、生活環境の保全、良好な自然景観の維持に努める必要があります。
- ごみの減量・資源化については、ごみの発生抑制、再使用、再生利用いわゆる3Rを基本とする取り組みなどの環境教育を推進し、広く市民へ周知・啓発を図ることで「ゼロ・エミッション（人間の活動から発生する排出物を限りなくゼロにすること）」の取り組みをさらに進める必要があります。
- 環境施設については、施設の老朽化も進行しており、計画的な改修や更新を行う必要があります。

施策計画

1. 快適な生活環境づくり

- ペット飼育者のマナー向上のための啓発を推進します。また、獣医師会と協力し、避妊・去勢手術の取り組みを推進し、さらに、狂犬病の発生・まん延を防ぐため、予防注射の接種率の向上に努めます。
- マイクロプラスチック等の環境問題に対応するため、ごみのポイ捨て防止など身近で取り組みやすい啓発活動やごみステーションによる効率的な回収活動を実施します。
- 資源循環型社会の構築・地球温暖化の防止に寄与するため、マイバック、マイボトル持参の推進を図るなど、市民と行政が一体となってプラスチック製品の使用・発生の抑制に取り組みます。
- 公衆衛生施設の快適な利用に向けて適正な運営を図るとともに、耐用年数を迎えている施設については、設備等の定期的な点検結果をもとに、改修を行い施設の長寿命化を図ります。

成果指標名	現状値	前期目標値
生活環境に関する苦情件数	407 件 (R3年度)	360 件 (R7年度)

2. ごみ減量化・資源化の推進と循環型社会の実現

- 各種団体等に対し、3R（ごみの発生抑制・再使用・再生利用）を基本とする環境学習を通じた啓発活動に努めます。
- 各種メディアによる周知活動により市民の環境に対する意識向上に努めます。
- 生ごみ処理容器等設置および資源物回収活動団体への支援を行うとともに、美化推進員等との連携を強化します。
- 事業系の一般廃棄物の分別・収集と資源化の徹底を図ります。
- 環境美化推進委員など市民との協働によるプラスチックごみの排出抑制やプラスチックごみの資源化の取り組みを推進します。
- 先進事例や市民からの意見をもとに研究を進め、市民と行政が一体となっごみ削減の取り組みを進めます。
- 環境施設等については、計画的な補修等を行い、施設統合を見据えた維持管理を行いません。

成果指標名	現状値	前期目標値
資源化率 ※民間事業者が独自に資源化した量を含む	22.6 % (R 3 年度)	28.1 % (R 7 年度)
ごみ総排出量 (資源物を除いたごみの排出量)	25,299 t (22,181 t) (R 3 年度)	19,259 t (16,455 t) (R 7 年度)

分野別計画

天草市環境基本計画、天草市一般廃棄物処理基本計画

この政策が関連する『ありたい姿』

14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われています

ともに学び
ともに育つまち

つながり稼げるまち

やさしさと安心のまち

自然と共生するまち

挑み続ける行政運営
に



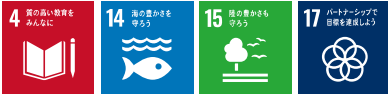
ありたい姿

16. 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができています

政策 36

自然資源を活用した地域の魅力向上

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 恐竜等の化石をはじめとする学術的な調査・研究は、確実に進んでおり、世界的にも貴重な化石等が発見され、またその情報発信を行っています。
- 市民を対象に出前講座や出前授業による天草の豊かな自然資源を活用した教育普及活動を行っています。
- 自然資源を活用して活動を行っている団体に対し、学術的支援を行っています。

課題

- 天草における豊かな自然資源の認知度向上が求められています。
- 市民、関連団体、行政が連携し、豊かな自然資源を活用した取り組みを推進していくことが重要です。

施策計画

1. 大地の遺産を活用した活動の推進

- 天草2市1町で連携し取り組みを進める「海にうかぶ博物館あまくさ」の活動計画を基に、風光明媚な島の景観と豊かな生態系の魅力ある自然資源を活かし、学校や地域での出前授業や出前講座による教育普及活動の充実を図ります。
- 天草の自然資源を活用している団体への学術的な支援活動を推進し、豊かな島の自然の魅力向上を図ります。

成果指標名	現状値	前期目標値
各種講座等の参加者人数	546人 (R3年度)	1,500人 (R7年度)

2. 自然資源に関する拠点施設の整備

- 恐竜化石や生態系の多様性など、学びの場としての豊富な素材を活かし、教育普及活動を推進するとともに、情報発信および地域交流の拠点として御所浦恐竜の島博物館を整備します。
- 博物館開館に向け官民が一体となって受け入れ体制を構築し、持続可能な仕組みづくりに取り組みます。

成果指標名	現状値	前期目標値
御所浦恐竜の島博物館来館者数	2,324人 (R3年度)	30,000人 (R7年度)

分野別計画

『海にうかぶ博物館 あまくさ』活動計画

この政策が関連する『ありたい姿』

- 3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができます
- 4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されています
- 8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられています
- 10. 安心して子どもを生み育てられるまちができています